

システム変更等のお知らせ

(2006. 11. 1–2006. 12. 31 変更)

システム運用係

1 ハードウェア … 変更

1.1 SR11000 性能向上

2006年11月末にSR11000のCPUクロックを1.9GHzから2.3GHzへ変更しました。これによりノード単体では121.6GFLOPS(16CPU)から147.2GFLOPS(同)へ若干の性能向上が図られました。

2 ソフトウェア … 変更

2.1 HI-UX/MP P ; mpp-s, mpp-bt … なし

2.2 AIX 5L ; sr11000-s, batch … 変更

AIX 5L

5. 3 (2006. 12. 3)

最適化FORTRAN 90

01-05-A (2006. 12. 3)

- 自動インライン展開対象の範囲の制御を行う `-autoinline_target` オプション、およびインライン展開のメッセージ出力の制御を行う `-autoinline_diag` オプションを追加しました。
- 成分初期値指定の文字型に対する長さの制限値を 255B から 2GB へ変更しました。
- 複素定数表現の実部および虚部にスカラ変数式を使用可能にする `-excmplx=2` オプションを追加しました。
- 編集記述子の欄幅(w)、小数部の桁数(.d)、指数フィールドの桁数(e)、および文字位置(n, c, k)の省略時の動作を制御する `RUNST(FMTCNTL)` 実行時オプションを追加しました。
- `DO` ループ、`FORALL` ループ、`WHERE` 構文のネスト上限値を 25 から 126 へ変更しました。
- `-I` オプションの指定可能な個数の上限値 16 を解除しました。
- `-argchk` オプションについて以下の機能を追加しました。
 - 引数の個数と型が異なる場合、プログラムの実行を終了するかどうかを指定する `RUNST(CONTARGCK)` 実行時オプションを追加しました。
 - `KCHF034R`、`KCHF033R`、`KCHF046R`、`KCHF004R`、`KCHF005R`、`KCHF031R`、`KCHF032R` エラーメッセージについて、属性の不一致情報、または、引用仕様本体の特性、手続定義の特性、関数名を出力するようにしました。
 - 実引数と仮引数の属性についてのエラーチェックを抑止するかどうかを指定する `RUNST(ARGATTRCHK)` 実行時オプションを追加しました。

- KCHF903R メッセージに、write 失敗時の対象ファイルシステム名を追加しました。

最適化FORTRAN 77	01-05-A (2006.12.3)
---------------	---------------------

- 自動インライン展開対象の範囲の制御を行う `-autoinline_target` オプション、およびインライン展開のメッセージ出力の制御を行う `-autoinline_diag` オプションを追加しました。
- 複素定数表現の実部および虚部にスカラ変数式を使用可能にする `-excmplx=2` オプションを追加しました。
- 編集記述子の欄幅(w)、小数部の桁数(.d)、指数フィールドの桁数(e)、および文字位置(n, c, k)の省略時の動作を制御する `RUNST(FMTCNTL)` 実行時オプションを追加しました。
- DO ループのネスト上限値を 25 から 126 へ変更しました。
- `-I` オプションの指定可能な個数の上限値 16 を解除しました。
- `-argchk` オプションについて以下の機能を追加しました。
 - 引数の個数と型が異なる場合、プログラムの実行を終了するかどうかを指定する `RUNST(CONTARGCK)` 実行時オプションを追加しました。
 - KCHF004R、KCHF005R エラーメッセージについて、関数名を出力するようにしました。
- KCHF903R メッセージに、write 失敗時の対象ファイルシステム名を追加しました。

最適化C	01-03-A (2006.12.3)
------	---------------------

- `soption` パラメタに以下のオプションを追加しました。
 - `stripmine` (ストリップマイニング最適化の適用)
- OpenMP の指示文に以下の指示節を追加しました。
 - `parallel` 指示文: `num_threads` 指示節
(並列リージョンを実行するスレッド数を指定)
 - `single` 指示文: `copyprivate` 指示節
(変数を並列リージョン内の全スレッドにブロードキャスト)
- OpenMP の実行時ライブラリに以下の関数を追加しました。
 - `omp_get_wtime()` (経過時間を返却)
 - `omp_get_wtick()` (クロック当たりの時間を返却)
- 関数の引数の型が適合しないポインタ型の場合、エラーメッセージに引数の情報を出力するように変更しました。

最適化標準C++	01-02 (2006.12.3)
----------	-------------------

- 関数の引数の型が適合しないポインタ型の場合、エラーメッセージに引数の情報を出力するように変更しました。

2.3 VOS 3 / FS ; m-vos … なし

2.4 HI-OSF / 1-MJ ; m-unix … なし

3 その他

3.1 2007年3月のシステム入れ替えについて（再掲）

本誌7月号からお知らせしているとおり、運用支援システムは2007年3月6日、SR8000/MPPは2007年3月7日にてサービスを終了します。また、SR11000は2007年3月25日から4月2日にかけてシステム増強を行います。

詳細については本誌別記事「システム入れ替えおよび2007年度のサービスについて」をご覧ください。

3.2 オープンフロアサービスの終了について

オープンフロアサービスは2007年3月6日をもってサービスを終了します。これ以降は各種端末およびプリンター、磁気テープ装置等の利用はできませんのでご了承ください。

3.3 SR8000/MPP 超並列ジョブ（128 ノード）実行サービスの終了について（再掲）

SR8000/MPPにて毎月1回、第1週金曜日から翌月曜日にかけて行っています超並列ジョブ実行サービスについては、2007年2月のサービス（2月2日～5日）をもって終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

3.4 SR11000 open キューサービスの終了について

SR11000にて毎月1回、第4週金曜日から翌月曜日にかけて行っていますopenキューサービスについては、2007年2月のサービス（2月23日～26日）をもって終了とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

3.5 年度末の /short/batch、/para-io のファイル削除について

2007年度へのサービス変更に伴い、2007年3月末にSR11000の/short/batchおよび/para-ioのファイルを全て削除します。必要なファイルは本年度のサービス終了日（3月25日を予定）までに各自で移行していただきますようお願いします。